

再エネ電力9社で導入

県、共同購入参加事業者決定

県は12日、本年度から中部地方初の取り組みとして進めていた再生可能エネルギー電力の共同購入プロジェクトに参加し、再エネ電力を導入する事業者9社を決定したと発表した。

プロジェクトは、県が取りまとめた複数の企業が再エネ電力のオークションに共同で参加することで、料金を下げる仕組み。参加事業者にとっては設備投資を

行うことなく、二酸化炭素(CO₂)排出量の削減が可能となる。電力小売事業者のオークションサービス「エネオク」(東京)と連携して進めている。(稲葉亮)

非公表希望の2社を除く参加事業者は次の通り。

オレンジ・トータルケア(海津市) 県公衆衛生検査センター(岐阜市) セリア(大垣市) トーカイ(関市) ハイビックス(瑞穂市) ヤマムラ(関市) 渡辺酒造店(飛騨市)